

文化会館の老朽化対応で

大規模改修へ安全祈願

西尾市文化会館の大規模改修工事に向けた安全祈願祭が10日、施主の中村健市長が出席して施業者の主催で館内のホワイエで行われた。

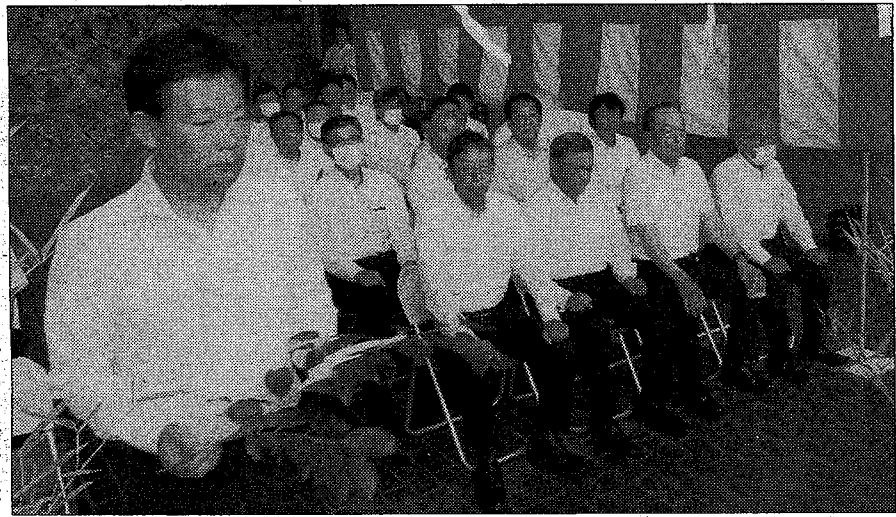
市は開館後40年が経過し、老朽化が進む同施設の設備機器の更新を中心とした工事に今年度から着手。期間は今年度から着手。休館は令和7年1月3日までとしている。

大ホールは耐震天井へ改修しながら客席を4倍幅広

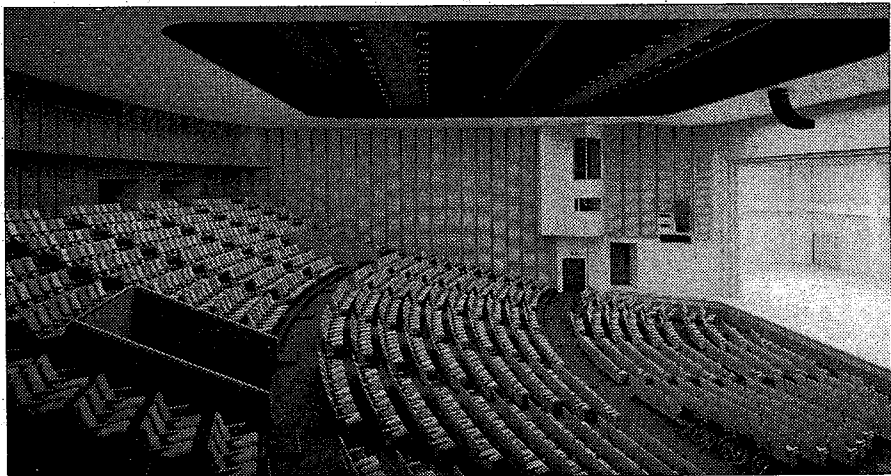
にした座席に変更。電気・給排水・空調設備を更新し、照明設備のLED化、全館トイレの洋式化と女子トイレの増設、大小ホールのスピーカー等の舞台音響・調光装置等の照明改修を行う。

2、3階は文化拠点施設としてフロアを改修。外構工事として市民広場の舗装改修でイベントなどが行える利用スペースにする。また、駐輪スペースは道路と

会館近くへ整備して利便性を高める。概算費用は約30億円。



玉串奉奠をする施主の西尾市の中村市長



天井を耐震化し、座席幅を広げてリニューアルする大ホール

は施業者(カンコ内氏名は代表者等)の山旺・黒柳特定建設工事共同企業体(山旺建設・山崎克弥/黒柳建設・黒柳正吉)、辻村・加藤特定建設工事共同企業体(辻村工業・辻村和敏/加藤工務店・加藤光好)、光陽冷熱工業(橋本竜児)、鈴木電気工事(鈴木信之)、ミナト電機(宮地雅浩)、アプロ通信中部支社(長尾昭人/三河営業所)。

安全祈願祭を主催したのは西尾市からは中村市長や

市議会文教交流委員会の松井晋一郎委員長、西尾市文化協会の長島幹城専務理事、設計監理の伊藤建築設計事務所の小田義彦社長らを迎え、関係者ら約50人が出席。今後の工事の安全を祈願する玉串奉奠などの神事が行われた。

中村市長は直会の施主あいさつで「設計施工を担っていただくみなさまには物価高騰などが続く中で工事を引き受けていただいた。建設後40年以上が経過した中、これまで大幅に手を入